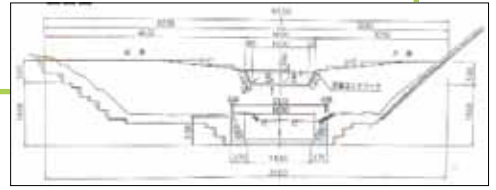


★施設の概要！

規模：高さ14.0m、堤頂長91.0m、体積7,695m³、計画貯砂量 48,600m³
 工期：平成11年～13年
 金額：4億8千万円



★ポイント！

この堰堤は、調査設計の段階で、高さ14.0mのコンクリート堰堤に必要な地盤支持力が得られないことが判明したため、堰堤の軽量化を図り鋼製枠堰堤を採用しました。

鋼製枠堰堤は、枠の組立・石詰めなどの簡単な作業だけで資材運搬も少なく、施工についてもコンクリート堰堤より天候を選ばないため、工期を短縮でき施工性に優れています。

竣工時は国内最大の鋼製枠堰堤で、現在は国内第2位の規模です。



正面よりの写真



側面よりの写真

【観光情報：日本海の見える村「戸土」^{とど}】

「山国信州の集落から唯一海が見える場所」それが小谷村戸土。信越県境の地では雑鎌打ちの神事が行われます。御柱祭りの前年に諏訪大社の宮司が戸土の境の宮神社と中股の小倉明神の御神木に、6年ごと交互に雑鎌と呼ばれる鶏のトサカのような形をした神器の鎌を打ち込みます。信濃の国の無事平安を祈るという意味があります。



【アクセス&留意ポイント】

堰堤手前の村道に駐車スペースがあるので、地元の方の農作業に支障のないように車を止め、10分歩きます。

この場所に限らず、この地域においては日頃から地元の皆さんが道の草刈をして、砂防堰堤の維持管理に支障がないようにご協力をいただいております。

砂防堰堤周囲には柵があり、危険な場所へは立ち入りを禁止しています。

事故が発生しますと砂防堰堤の現地見学を全面的に禁止せざるをえなくなりますので、ご協力願います。

